

中野区感染症発生動向調査情報集計結果の送付について

中野区の令和5年第51週（12月18日～12月24日）分情報、東京都・全国情報を下記のとおり送付いたします。中野区分につきましては最新の情報を提供しております。なお、速報性を優先していますので調査結果によっては、後日、情報が訂正されることがあります。

- | |
|----------------------------------|
| 1 中野区集計 |
| ① 全数届出患者数一覧（中野区届出分） |
| ② 定点把握対象疾患集計（中野区届出分） |
| 2 東京都感染症情報センター 感染症週報（第50週） |
| 3 厚生労働省/国立感染症研究所 IDWR感染症週報（第49週） |

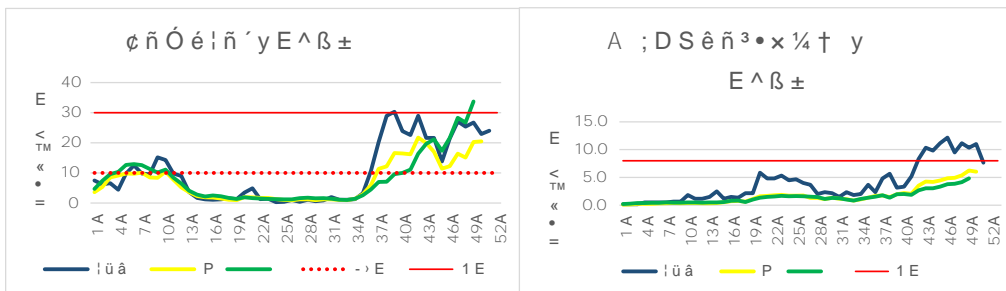
区内定点よりの調査票通信（第51週速報）

- ・今週の新型コロナウイルス感染症の定点報告数は44人、定点当たり4.4でした。
- ・今週のインフルエンザの定点報告数は240人、定点当たり24.0でした。
- ・今週の咽頭結膜炎の定点報告数は8人、定点当たり1.3でした。
- ・今週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点報告数は46人、定点当たり7.7でした。

コメント

○今週は2類の結核の届出が2件（90代男性・結核性胸膜炎、50代女性・肺結核）ありました。

○今週は5類の梅毒の届出が1件（50代男性、早期顕症梅毒Ⅱ期、異性間性的接触（推定））ありました。



○中野区内及び東京都内のインフルエンザの定点当たりの報告数は、注意報レベルが続いています。

○中野区内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数は、前週より減少しましたが、依然として高い傾向にあります。東京都内では第50週（12月18日～12月24日）に警報レベルに達しました。潜伏期間は2～5日で発熱、咽頭発赤、莓状の舌等の症状があり、しばしば嘔吐を伴います。学童期の小児に多いとされ、中野区内では5歳～9歳の報告数が全体のおよそ60%占めています。予防には手洗いや手指消毒、咳エチケットが有効です。咽頭痛がある場合には早めに医療機関を受診し、検査を受けてください。

●東京都内の咽頭結膜熱の定点当たりの報告数は、**警報レベルが続いています**。原因となるアデノウイルスはアルコール消毒が効きにくいいため、こまめな手洗いや咳エチケットが大切です。

①-1 全数届出患者数一覧（中野区届出分） 一類から四類感染症まで

分類	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2023年 報告数
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう（天然痘）						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎						
	結核					2	33
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群（SARS）						
	中東呼吸器症候群（MERS）						
	鳥インフルエンザ（H5N1）						
	鳥インフルエンザ（H7N9）						
三類	コレラ						
	細菌性赤痢						
	腸管出血性大腸菌感染症			1			6
	腸チフス						
	パラチフス						
四類	E型肝炎		1				5
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）						
	A型肝炎						
	エキノコックス症						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサヌル森林熱						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	エムボックス(※)						1
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1及びN7N9を除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
発疹チフス							
ポツリヌス症							
マラリア							
野兎病							
ライム病							
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽							
レジオネラ症						4	
レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱							

※ 令和5年5月26日に「サル痘」から「エムボックス」に感染症法上の名称が変更した。

①-2 全数届出患者数一覧（中野区届出分） 五類感染症

分類	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2023年 報告数
五類	アメーバ赤痢						1
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)						
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症						1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)						
	急性脳炎						
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病						
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					2
	後天性免疫不全症候群						12
	ジアルジア症						1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						
	侵襲性髄膜炎菌感染症						
	侵襲性肺炎球菌感染症						1
	水痘(入院例に限る)						
	先天性風しん症候群						
	梅毒		1			1	14
	播種性クリプトコックス症						
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
百日咳						2	
風しん							
麻しん							
薬剤耐性アシネトバクター感染症						2	

② 定点把握対象疾患集計（中野区分）

定点種別	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2023年 報告数
インフルエンザ COVID-19	インフルエンザ	271	254	267	229	240	5211
	新型コロナウイルス感染症(※1)	17	19	24	29	44	2653
小児科	RSウイルス感染症	2	2				96
	咽頭結膜熱	12	13	6	11	8	216
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	67	62	66	46	1211
	感染性胃腸炎	46	84	80	76	69	2331
	水痘		1		6	2	58
	手足口病	6	7	2	4	1	228
	伝染性紅斑						5
	突発性発疹	1	2	1	1	4	137
	ヘルパンギーナ						437
	流行性耳下腺炎						21
	不明発疹症		1				1
	MCLS（川崎病）		1				4
眼科	急性出血性結膜炎						1
	流行性角結膜炎	3	1	1	1	2	33
基幹	細菌性髄膜炎						
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎						
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(※2)						

※1：令和5年5月8日に新型インフルエンザ等感染症から5類の定点把握対象疾患に変更。

※2：病原体がロタウイルスであるものに限る。

中野区の定点

インフルエンザ/COVID-19定点数	10	10	10	10	10	10
小児科定点数	6	6	6	6	6	6
眼科定点数	1	1	1	1	1	1
基幹病院定点数	0	0	0	0	0	0
性感染症（STI）定点【月報】	2	2	2	2	2	2